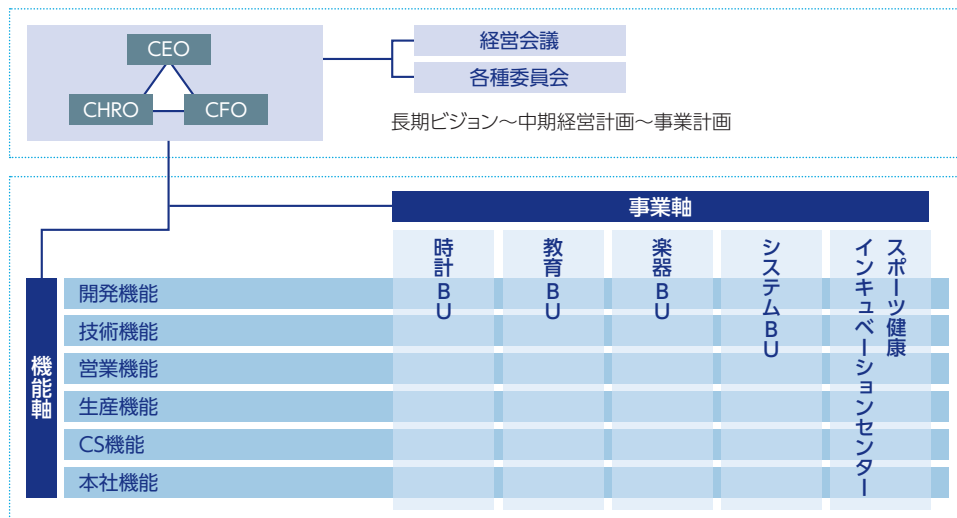


マトリクス型経営による責任の明確化と権限の委譲

当社では新しい社会環境に適応した会社となるための強い経営基盤の構築を目指して推進しています。2021年4月より効率的かつ最大パフォーマンスを発揮するために、事業軸×機能軸によるマトリクス経営を推進するとともに、経営資源の最重要要素である人的資産と財務資本等についての全社最適を充実させるために、新たにCHROとCFOに

よる全社最適視点を取り入れて、経営基盤の再構築を行いました。

全社最適化の視点により、CEO、CHRO、CFOが三位一体となり、中期経営計画に基づく事業計画、ならびに必要な要員計画、投資計画を策定。それを各事業軸・各機能軸の責任者が審議・意思決定し、実行してまいります。



代表取締役 専務執行役員 CHRO

中山 仁

「“人”は経営資源として非常に重要な要素であり、イノベーションの担い手は常に“人”です。経営戦略と人事戦略を連動させ、社員の成長を通して企業の成長を図ってまいります。」



取締役 常務執行役員 CFO

高野 晋

「持続的価値創造に向けて、CFOとして事業ポートフォリオマネジメント及び各事業への適切なキャッシュ配分等、経営資源の最適化や財務戦略を推進し、企業価値向上を目指します。」